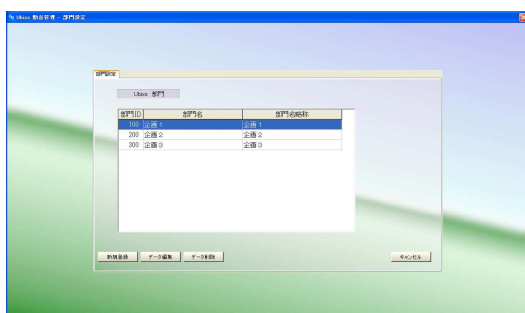


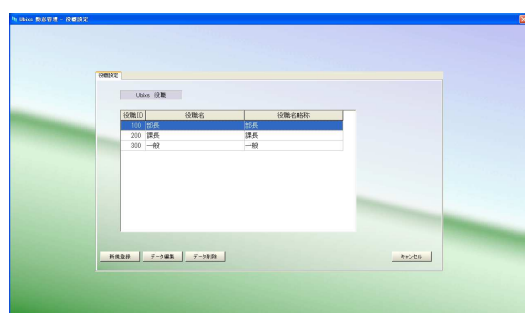
UBIXS_f 運用準備

■マスター設定編 (以下の順番でマスターを設定してください)

① 部門 (ご使用にならない場合でもダミーで1個は設定してください)



② 役職 (ご使用にならない場合でもダミーで1個は設定してください)

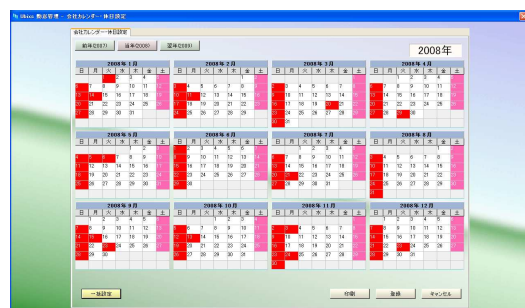


③ 勤務区分

シフト毎に、1日(24時間)を、勤務時間、残業時間、休憩時間に区切ります。
(ご注意) 勤務区分コードは01から初めてください。(01は必須です)



④ 会社カレンダー・休日



⑥ 事由（基本項目以外で、追加が必要な場合のみ登録してください）

事由コード	事由名称	事由説明
01	有給休暇	有給休暇
02	代休休暇	代休休暇
03	特別休暇	特別休暇
04	一般欠勤	一般欠勤
05	無休欠勤	無休欠勤
06	その他欠	その他欠
07	平日有給	平日有給

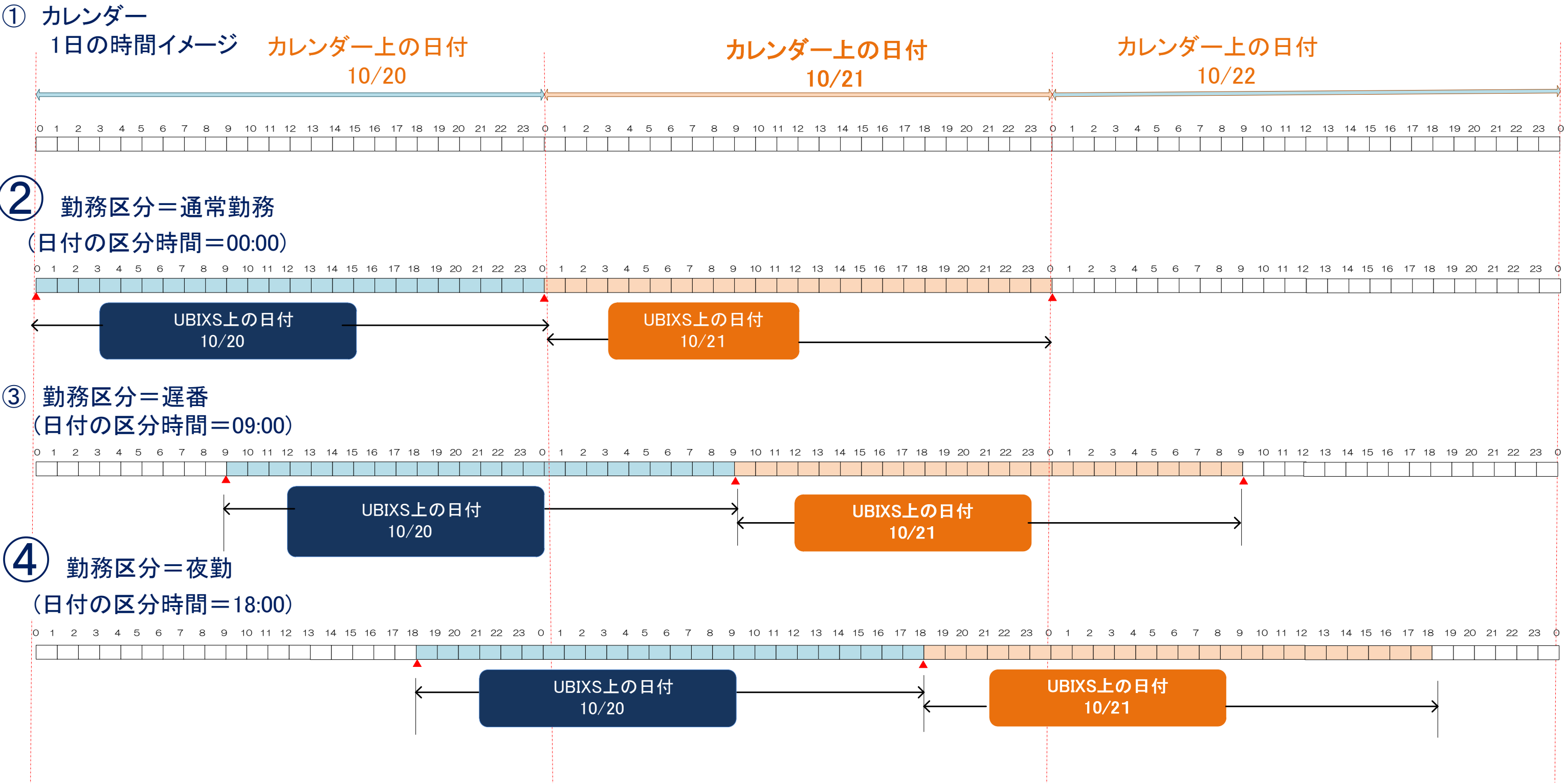
⑦ 管理設定

必要な設定項目は、バックアップフォルダとCSVフォーマットです
CSVフォーマット＝標準フォーマットの場合、全ての項目を出力します。

⑧ 社員

必要な設定項目は 部門・役職・フェリカーコードです

勤務区分設定例 1日の定義



② 勤務区分設定例

UBIXS RP - 勤務区分設定

勤務区分設定

UBIXS RP 勤務区分登録

勤怠区分コード 01

勤怠区分名 通常勤務 略称 ○

① 日付の区分時間 0:00

時間帯	開始時刻	終了時刻
早出残業	:	~ :
② 勤務時間	9:00	18:00
③ 普通残業	18:00	22:00
④ 深夜残業	22:00	0:00
⑤ 休憩時間1	0:00	9:00
休憩時間2	12:00	13:00
休憩時間3	:	~ :
休憩時間4	:	~ :
休憩時間5	:	~ :
休憩時間6	:	~ :
休憩時間7	:	~ :
休憩時間8	:	~ :
休憩時間9	:	~ :
休憩時間10	:	~ :

端数処理

出勤時間補正 ① 無し
② [MM]分単位・端数切上げ
③ [MM]分単位・端数切捨て

退勤時間補正 ① 無し
② [MM]分単位・端数切上げ
③ [MM]分単位・端数切捨て

勤務時間補正 ① 無し
② [MM]分単位・端数切上げ
③ [MM]分単位・端数切捨て

残業時間補正 ① 無し
② [MM]分単位・端数切上げ
③ [MM]分単位・端数切捨て

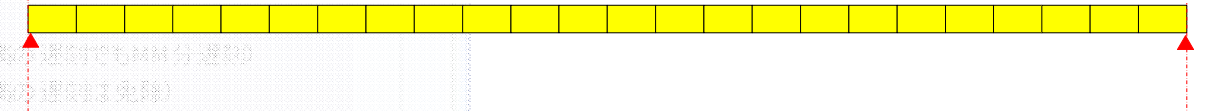
UBIXS 勤務区分設定（補足説明②）

- ① 日付の区分時間が必要です
日付の区分時間=00:00
UBIXSは00:00~0:00までを1日とみなします

横棒を引き、時間を書いてみてください 以下はその例です

この24時間をどのように割り振るかが細かい設定になります

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0



- ② 勤務時間を 09:00~18:00 と設定します

- ③ 普通残業時間を 18:00~22:00 と設定します

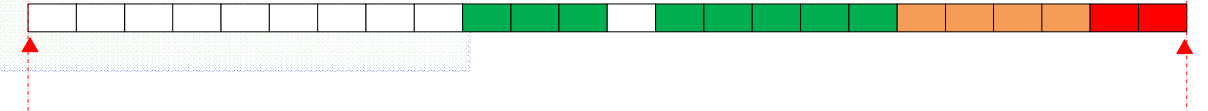
- ④ 深夜残業時間を 22:00~00:00 と設定します

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0



- ⑤ **ここからが重要です。**
休憩時間を 00:00~09:00
12:00~13:00 と設定します。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0



出来上がった勤務区分は、色が付いている時間帯は勤務時間に加算されますが
色が付いていない時間帯（休憩時間）は勤務時間に加算されません。
例えば、朝8:00に出勤しても8:00~9:00は勤務時間には加算されません

④ 勤務区分設定例

勤務区分設定

UBIXS RP 勤務区分登録

勤怠区分コード 12

勤怠区分名 夜勤 略称 ●

① 日付の区分時間 18:00

時間帯	開始時刻	終了時刻
早出残業	:	~ :
② 勤務時間	21:00	~ 6:00
③ 普通残業	6:00	~ 8:00
深夜残業	:	~ :
④ 休憩時間1	18:00	~ 21:00
休憩時間2	1:00	~ 2:00
休憩時間3	8:00	~ 18:00
休憩時間4	:	~ :
休憩時間5	:	~ :
休憩時間6	:	~ :
休憩時間7	:	~ :
休憩時間8	:	~ :
休憩時間9	:	~ :
休憩時間10	:	~ :

端数処理

出勤時間補正 0 分単位

退勤時間補正 0 分単位

勤務時間補正 0 分単位

残業時間補正 0 分単位

端数処理

無し

[MM]分単位・端数切上げ

[MM]分単位・端数切捨て

UBIXS 勤務区分設定（補足説明④）

- ① 日付の区分時間が必要です
日付の区分時間=18:00
UBIXSは18:00～翌日18:00までを1日とみなします

横棒を引き、時間を書いてみてください 以下はその例です

この24時間をどのように割り振るかが細かい設定になります

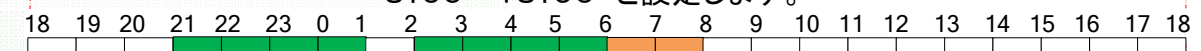


- ② 勤務時間を 21:00～ 6:00 と設定します

- ③ 普通残業時間を 6:00～ 8:00 と設定します



- ④ **ここからが重要です。**
休憩時間を 18:00～21:00
1:00～ 2:00
8:00～18:00 と設定します。



出来上がった勤務区分は、色が付いている時間帯は勤務時間に加算されますが
色が付いていない時間帯（休憩時間）は勤務時間に加算されません。
例えば、早く18:00に出勤しても18:00～21:00は勤務時間には加算されません

ご注意 よく勘違いされる設定例は、時間が連続しているからという理由で、
休憩時間を8:00～21:00と設定してしまうパターンです
この設定はUBIXSシステム上、翌日にまたがる設定(1日を超える)
になってしまい正しく時間計算しません。
日付の区分時間=18:00なら、18:00～18:00までの時間内での
設定にしてください